



八 剣 山 通 信

第3号

八 剣 山 発 見 隊

2002年12月10日 発行

12月1日(日)

「冬期間の野菜簡易貯蔵体験」が実施されました。

【行事の概要】

春から八剣山のふもとで手塩をかけて育ててきた野菜たち。今年も苦労のかいがあって立派に育ちました。

ほとんどの野菜たちは収穫され、私たちの食料として実りのありがたさを教えてくれています。いま、多くの野菜たちは、倉庫の中で貯蔵されています。

しかし、自然とともに暮らしてきた昔の人たちは、厳しい寒さの北海道の冬に貯蔵している貴重な野菜を寒さで凍らせて痛めないよう、生活の中で知恵を絞ってきました。その一つが漬け物であり、もう一つが畑に穴を掘って、その中に収穫した野菜を貯蔵する方法でした。

畑の中は天然の貯蔵庫であり、また、天然の冷蔵庫でもあります。そこで冬を越した野菜たちは、収穫した時より甘くなったりおいしくなったりします。これも自然からの贈りものといえるでしょう。

今回は八剣山周辺で収穫された野菜を、畑の中に貯蔵する方法について、体験することを目的として企画されたところです。

主催：八剣山・小金湯周辺地区まちづくり意見交換会事務局

【会場の位置図】



● 越冬野菜貯蔵場所

【行事の感想】

畑には1~2センチの積雪がありましたが、まぶしいほどに晴れ渡った青空の下、15名が集まりました。

はじめに八剣山果樹園の桜井さんから、野菜の冬季保存に関して過去に行っていた実施方法について、続いて佐藤範行さんから野菜を越冬させることによる経済的効果についてお話を伺いました。

予め用意しておいた「ジャガイモ、大根、にんじん、リンゴ」を、八剣山果樹園の裏の畑に、深さ5センチほどの穴を参加者全員で掘り、稲わらを敷いてから、山盛りに重ね、上に稲わらを乗せてその上から土をかけて、四つの土盛りを完成させたところです。

午後からは来年の活動予定について、参加者と意見交換を行いました。（「今後の行事予定」のとおり）

【畑の中で穴を掘り、野菜を貯蔵】



【今後の行事予定】

- 2月：2日 陶芸体験、雪遊び、越冬野菜掘出し
- 16日 雪だるまつくり、豚汁づくり
- 3月：2日 燻製づくり、越冬野菜掘出し
- 16日 木工教室、雪中山歩き
- 4月：13日 桜の苗木植樹

発行：八剣山発見隊事務局（八剣山果樹園）
 061-2275 札幌市南区砥山126番地
 TEL 011-596-2280 FAX 011-596-2280